

授業をサポートする指導書（朱書編）

東京書籍の指導書には、指導展開例を示した研究編だけでなく、児童が持つ教科書に発問などを示した朱書編をご用意しています。準備の場面で研究編と合わせて授業の展開を考える、授業の場面で留意点を参照するなど、先生がたの授業を強力にサポートいたします。

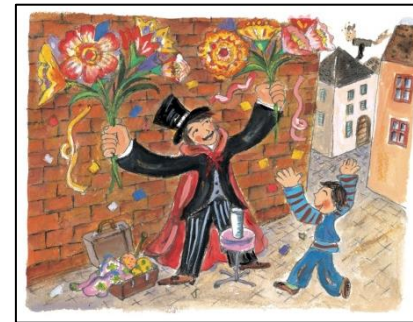
1. 朱書きページの構成

教科書と同じ判型・レイアウトの「朱書き本」をご用意いたしました。以下の点を適宜参照してご授業いただけます。

<p>留意点 授業を進めるうえで重要な留意点を示しています。内容としては、授業を進める際の話し合いの留意点や、教室の実態などに応じて配慮すべき点などがあります。</p>	<p>板書 板書をまとめる場面や、その際のポイントを示しています。研究編や付属 CD-ROM の板書とあわせてご活用いただけます。</p>	<p>内容項目／主題名／ねらい 授業の内容項目・主題名・ねらいを参照できます。特に、内容項目を児童と一緒に確認することで、児童が見通しを持ったうえで学習に臨むことができます。</p>
---	--	--

2. 場面絵 CD-ROM

- 全教材の場面絵（挿絵）を指導書付属の「場面絵 CD-ROM」に収録しています。
- 拡大して黒板に掲示することができます。



3. ワークシート編

- 全教材分のワークシートをご用意いたしました。
- 1 教材につき 2 枚構成です。（シート集とデータをご用意いたしました。）

20 手品師 せいじつに明るい心で

【主題名】 明るく生きる

【ねらい】 どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心構えを育てる。

名前 _____ 月 _____ 日 _____

20 手品師 せいじつに明るい心で

【ねらい】 どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心構えを育てる。

名前 _____ 月 _____ 日 _____

▲教材に即したもの

▲振り返りと評価に活用できるもの

発問③中心発問の板書
たった一人のお客さまの前で

【発問③】 たった一人のお客さまの前で、手品を演じているときの手品師の気持ちを書いて、話し合ってみよう。

【反応例③】 たった一人のお客さまの前で、手品を演じているときの手品師の気持ちを書いて、話し合ってみよう。

発問②の板書 友人からの電話

【発問②】 友人からの誘いを断るまでの間、手品師はどんなことを考えたでしょう。

【反応例②】 自分の夢をかえたい。こんなチャンスは二度とない。男の子の悲しい顔は見たくない。約束は守らなければ。

導入の発問 人生でも迷ったのはどんなときですか

【ねらい】 どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心構えを育てる。

<p>解説 読み物教材の文章には、内容項目に関わるポイントや知見的な面からの補足などを加えています。挿絵や写真についても、示されているのがどのような場面か、着目するポイントはどこかを解説しています。</p>	<p>主な発問 研究編の展開例に示した発問を行う場面や、予測される児童の反応例を示しています。</p>	<p>導入発問 研究編の導入発問を記載しています。授業準備で確認した内容がそのまま記載されているので、安心してご授業いただけます。</p>
--	--	--

付録「道徳ノート」データをご用意いたしました。ご授業の形態に合わせて、ご活用下さい。

「道徳ノート」データのサンプルは、別資料「評価をサポートする教科書と指導書」に掲載しております。

